

愛知スキー協通信 No.363

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2025年5月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com



編集：サザンクロススキークラブ

クラブ力・技術力 アップ！！

中級指導員 1 名（直滑降 SC）、
山スキーリーダー 2 名（ぶなの木 SC）

誕生

今年度、中級指導員に直滑降 SC の土屋さん、山スキーリーダーにぶなの木 SC の新井さんと長谷川さんが合格しました。指導員・山スキーリーダーはスキーのすばらしさ・楽しさをより多くの人に広げ技術向上を進める要です。そしてクラブ行事にはなくてはならない存在です。役員・指導員・山スキーリーダーを中心にして楽しいクラブ活動を盛り上げていきましょう。（浅井）



関西ブロック上・中・初級指導員研修・検定会が 4/5 - 6 志賀高原で開かれ、愛知から上級指導員に深雪の米村さんと直滑降の三宅さんが、中級指導員に深雪の安藤さんと直滑降の土屋多賀子さんとが挑戦しました。全体で上級に 4 人、中級に 7 人、初級に 3 人が受験し、上級に北海道の三浦さん、中級には土屋さん始め 3 人が合格しました。

米村 土屋 三宅 安藤のみなさん
4/5 受験前、さあ頑張るぞ！

（山スキーリーダーについては愛知スキー協通信 2025/4/1 付け No.362 で報告済み）

指導員検定会の感想 土屋（直滑降 SC）

今シーズン、中級指導員にチャレンジしようと思ってからというもの、実技・理論ともになかなか思うように習得できないでおり、「一回で受からなくてもいいか」という気持ちと、「正直果たして何年もチャレンジできるのかな」という気持ちでいました。3月の野麦峠の技術委員会では、関西ブロックの上級指導員の方に教えていただき、参加された方々と一緒に勉強し、夜のミーティングでも励ましていただきました。また、検定会では、同室の安藤さんとペーパーテスト開始の直前まで勉強し、実技ではスタートの度に「いけっ！頑張れ！」と受験者同士で声を掛け合いました。3人一組で行う指導法実技では、昼食時に3人で相談して作戦を練り、リハーサルをしました。今回の検定会を通して、皆さんに助けていただいたり励ましていただいたりしてできたことばかりだと改めて感じました。指導員は、取得してからが本番だと初級指導員のときにも言われてきました。皆さんにいただいたご恩を胸に、これからも、よき指導者になれるよう精進したいと思います。

上級指導員に挑戦して 米村（深雪 SC）

- ◆私の想い：デモンストレーター以来のチャレンジだった。正直言って 20 年取り組みが遅く、東海ブロックには上級実力者が今はほとんどいないことが良く認識できた。関西ブロックの上級者の研鑽・実践に大いに刺激を受けた。感謝ですね。赤木さんの真下への横滑り左右連続各 3 回はその巧みさに脱帽。野瀬デモのコブ滑走に次元の違いを目から鱗が落ちるほど眼前で確認しました。
- ◆成果 「一つ上の指導資格に挑戦しよう！」に 4 人が参加して 1 人合格の成果を早速出したことは良かった。三宅指導員が関西ブロックの上級指導員を招致して宿泊手配と研鑽内容をリードしてくれたこと。技術委員会の予算措置の援助措置も良かった。来シーズンの取り組みに継続したい。
- ◆課題と展望： 合格者の出たクラブの活性化を期待します。池田検定員が事前講習の急斜面でやってくれた足場造りの実践練習法に見られた上級者の研鑽方法と技術内容をコブも上手くなる内容に技術委員会等で論議・研究して展望を開きたい。

中級検定受験感想 安藤（深雪 SC）

今回受験するにあたり、たくさんの方に指導していただきありがとうございました。期待に応えられなかったのはとても残念ですし、申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし一緒に講習をうけたいと希望した方がクラブの中にたくさんいて、皆さんの意欲を心強く感じました。来年は私は検定を受けませんが、たくさんの方が初級、中級、上級に挑戦してくれるといいなと思います。できるかぎり援助をしたいと思います。

栗岩恵一さんを偲ぶ

70 歳での人生の幕引きは若すぎる。もっとスキー協の組織とスキー技術を発展させることが出来たのに、残念だ。栗岩さんと深雪 SC とエピソードを記憶の中から手繰り寄せ、今後のスキー活動に僅かでも前向きに進みたい。

私と栗岩さんの出会いは深雪 SC 会長 12 年の中で二度劇的に合った。一度目は、長野県の雪っ子スキークラブ(当時：宮下会長)と深雪 SC との交流会を 20 年ほど前バーベキューをやりながら会話したのが初対面でした。ニコニコして気さく、元ワールドカップ選手とは想像しがたいフランクな人柄に直ぐに親くなりました。

2014 年 10 月 12 日、深雪 SC 35 周年記念式典を知多市勤労文化会館「やまももホール」で開催した時も来賓としてきていただき、「スキー・文化・平和のつながり」の講演もしてくれました。功労者二人(牧野国光・浅井千恵氏)の感謝状授与の際、手渡しの間に入って二人に渡してくれ、会場が和やかになりその後の会食とパーティー行事が楽しく進んだ事を思い出し、愛知のクラブまで来てくれたことに現職全国スキー協会長の末端の深雪 SC クラブ員への熱い思いを感じたものです。

栗岩さんのドラマチックな人生は 1980 年レークプラシッド冬季オリンピックの強化選手に選ばれながら 2 シーズン前の合宿中の事故で瀕死の重傷を負い現役を引退。勤労者スキーの振興、後進の育成に尽力されました。特にスキー協の競技大会へは競技経験を生かした大会へのアドバイス、セッター制度、スキー協 CUP などの提案や運営に大きく寄与(参照：全国スキー協 50 年史)されました。競技スキーと基礎スキーを別のスキー技術として捉えるのではなく一体のものとして系統化したものとして現教程があるのも栗岩さんの功績と認識し、指導員として精進していきたいと思います。

2025.4.23 深雪 SC 指導員 米村幹雄

ボッチャ機材の購入について

ボッチャという競技は、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。

障がいによりボールを投げることができなくても、ランプ（勾配具）を使い、自分の意思をランプオペレーターに伝えることができれば参加できます。



ボッチャはヨーロッパ生まれの、“パラリンピック” 正式種目

ヨーロッパで生まれたボッチャは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。新日本スポーツ連盟(新スポ連)では障がいのあるなしにかかわらず、だれもが参加できるスポーツとして、ボッチャを種目として登録し、推奨しています(現在は準備段階)。東海三県では、毎年、秋ごろに開催するスポーツセミナーでボッチャの体験教室を開催し、参加者の皆さんにボッチャを体験していただいております。



今年、三重県で開催するスポーツセミナーでは、ボッチャのルールや、競技の進め方などをボッチャの資格を持った指導員を招聘して、指導教室を開催する予定です。

愛知県連盟では、ボッチャの機材を購入して、みなさんに貸し出しを行い、気軽に楽しんでいただけるよう準備を進めています。今後、貸し出しルールの整備、ルールブックの作成などを行っていく予定です。また、全国新スポ連でも機材の購入を予定しています。

文責 永田

高さ 4 メートルのツダンスキーゾウの骨格復元

深雪スキークラブ 滋賀県立琵琶湖博物館 参加者 13 名

日時 4 月 20 日(日) 集合 金山駅 8:00

行程 金山駅 8:10==10:00 琵琶湖博物館(約 2 時間)==12:30 ロックベイレストラン(昼食)

13:40==琵琶湖博物館、水生植物公園(15:30 まで)15:45==18:15 金山駅 解散

金山駅に集合し、車 3 台に分乗して出発。滋賀県立博物館で現地集合の 2 名と合流し、博物館と草津市立水生植物公園みずの森の共通券を購入し、博物館を自由観覧しました。

工夫を凝らした展示で、子どもたちもたくさん来ていました。中でも高さ 4 メートルのツダンスキーゾウの骨格復元は半身が生体復元となっていて圧倒されました。このゾウが琵琶湖畔でミエゾウ→アケボノゾウとなり 180 万年前に消滅したそうです。

また、琵琶湖畔にはメタセコイアの化石も出ていて、500 万年前には中国と日本に生育していたのが、80 万年前には日本からなくなり、その理由は今も調査中とのこと。

更に、丸子船という 100 万石積載(米俵約 250 俵)の船が展示してあり、こんな大きな船が琵琶湖で活躍していたことに驚きました。漁具もたくさん展示してあり、淡水でも盛んに漁が行なわれていたことがわかりました。

いったん博物館を出てロックベイレストランで昼食を摂りました。その後博物館に戻り、博物館と植物公園みずの森に分かれて行動しました。私はみずの森へ行き、葉を作らせてもらったり、園内の花を愛でながら散策を楽しみました。枝垂桜、チューリップを始め温室にはスイレンが咲き誇り、バニラの木などもあったそうです。

3 時半に博物館に集合し、会計を済ませた後、車に分乗して帰途につきました。途中「あぐりの里栗東」と「アウトレット222」に寄り買い物をし、金山駅に到着・解散しました。

雨にも降られず、暑すぎもせず、有意義な一日を過ごせました。

また「100 万石積載の丸子船が圧巻だった」「古民家の展示は昔を思い出させてくれた」「プラントンの大きな模型が面白かった」などの感想もありました。(大宮)



参加者



作った葉



睡蓮の花

セッター講習会 テストランで参加

「小毛無」

2025年全国スキー協公認セッター養成検定会/研修会&テストランにテストランで参加しました。4月5日6日に野沢温泉スキー場の小毛無ゲレンデで行われました。参加者は全部で14名でした。

研修2名養成2名テストラン8名で愛知は6名静岡1名でした。長坂ゴンドラを降りた右にあるゲレンデでコースは大変短くGSのセットには不十分です。SLには少し短いですが十分です。

都連の研修会があり、コブを同じゲレンデでしたいため、2コース確保ができませんでした。研修・養成がセットしそこを滑る。滑っている間にもう一つのコースにセットする。新しくセットされたコースで滑る。

欲張り企画ですが、2コース確保できてなかったことが残念です。5日は結構冷えており、スノーセメント(野沢では硫安つまり硫酸アンモニウムで撒くことで凝固点降下の効果でバーンが締まる)を午後だけ使いました。思ったよりよい練習ができました。リフトを降りたら即コースで滑ったら即リフト乗り場というもののすごい効率の良さだからです。



6日はべた雪で最初に全面スノーセメントを撒き、それからセット、結構しまった雪で行うことができました。検定(1名合格)の関係で午後に食い込みましたがよい練習・研修ができました。すぐ下山し、硫安を使ったので板を洗い帰りました。

ゴールデンウィークで使う宿「シャレー野沢」に挨拶しました。飯山で遅い昼食を飯山「ラーメン竹信」で食べて帰りました。「手の届くところに道路標識」 文責 澤田安利



(編集後記)

サザンクロスの首藤です。

皆さんいろいろところで活躍されていて「すごいな」といつも思っています。

今年はホームページの更新を要請されていて、なかなかこずっていますが、現在のところ旧ホームページを少し改良して、スマホでも見やすくしています。ただし、画面がぴったり当てはまる機能はないので、ご覧になった方が自分でスマホ画面に合わせてください。まだ、出来上がるまでに時間がかかりますが、よろしくお願いします。サザンクロスは何とか会員を増やしたいと頑張っております。